



未来に生きる建築と
小さな町の豊かな暮らし



六甲山地の西端
山が海に迫る町
塩屋



～ドイツ系アメリカ人貿易商グッゲンハイム氏とその家族が住んだ洋館～

地震や台風、取り壊しの危機も逃れて、時代の中で姿を変えることなく、
海を眺めてたちつづけてきました。



1908(明治41)年頃

イギリス人建築家A.N.ハンセル氏の設計



旧グッゲンハイム邸 × サクソフォンカルテットコンサート

soprano 井上麻子 alto 濱田侑里 tenor 津田衣利子 baritone 石田さと子

2026.1.5 MON 19:30 開演 19:00 開場
大人¥3000 学生¥1500

旧グッゲンハイム邸 〒655-0872 兵庫県神戸市垂水区塩屋町3丁目5-17

ご予約・お問合せ erikotsuda2@gmail.com

Program
春の猟犬/リード
THE DOO-DAH SUITE/フォスター
サクソフォン四重奏曲第一番OP.53/サンジュレー
演歌、pops etc.

演奏後、会場にて懇親会を開催させていただきます🙌
ご来場の皆様、是非ご参加ください。

旧グッゲンハイム邸について・・・

六甲山地の西端、山が海に迫る町塩屋は、明治から昭和初期にかけて、風光明媚なその土地柄を愛した外国人達が多く移り住み、今でもその名残の洋館が点在しています。

「旧グッゲンハイム邸」は、1908（明治41）年頃にイギリス人建築家A.N. ハンセル（1857～1940）の設計で建てられたと考えられています。

その後、地震や台風、取り壊しの危機も逃れて、時代の移り変わりの中で姿を変えることなく、海を眺めて建ちつづけてきました。

典型的なコロニアルスタイルの建物には、開放的なベランダと5連のアーチを形作る列柱、張り出し窓、コーニスやよろい戸、引き込み式の扉、木製のマントルピース、スワンネックの階段手摺、欄間のような細工のカーテンボックスなど、特徴的な意匠が見られます。



soprano saxophone 井上 麻子

神戸市出身のサクソフォン奏者。大阪音楽大学を卒業後、パリ国立高等音楽院サクソフォン科を審査員全員一致の首席で修了、セルマー賞受賞。文化庁派遣芸術家在外研修員（2年）として奨学金を授与される。兵庫県芸術奨励賞、サントリー芸術財団「佐治敬三賞」、神戸灘ライオンズクラブ音楽賞等を受賞。台湾、韓国、フランス、中国など国内外の音楽祭、コンサートに出演するほか、第8回アドルフ・サックス国際コンクール（ベルギー）などの国際サクソフォンコンクール、KOBE国際音楽コンクール、大阪国際音楽コンクール等の審査員、また日本各地の吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテスト等の審査員を務めている。パリ国立高等音楽院サクソフォン科入学試験・卒業試験の審査員を3度務める。現在、大阪音楽大学特任准教授、県立西宮高等学校音楽科講師。井上麻子×藤井快哉DUOでCD『Prélude』『Prélude II』を発売中。



alto saxophone 濱田 侑里

神戸市出身。4歳からピアノ、12歳からサクソフォンを始める。京都市立芸術大学音楽学部管・打楽専攻卒業。学内選抜により同大学卒業演奏会および第37回ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。後に渡仏し、フランスのクラマーにあるH.Dutilleux 音楽院でDEMを取得し、審査員の賞賛付き・満場一致の最優秀の成績で卒業。H.Dutilleux音楽院在学時に、ソリストとしてグラズノフのサクソフォン協奏曲を共演。第7回パリジャンサクソフォンコンクールSOLISTE部門第3位。第3回アジアパシフィックソロサクソフォンコンクール第4位。第10回アンドラ国際サクソコンクールセミファイナリスト。これまでにサクソフォンを井上麻子、須川展也、國末貞仁、本堂誠、アレクサンドル・スーヤの各氏に、室内楽をナンシー・アンデルフィンガー、アレクサンドル・スーヤの各氏に師事。第7期SATONONEレジデンシャル・アーティスト。



tenor saxophone 津田 衣利子

姫路市出身。大阪音楽大学短期大学部卒業後、渡仏。国立パリ地方音楽院（パリ10区ベルリオーズ音楽院）を最優秀の成績でディプロマ（国家音楽研究資格）を取得し修了。パリ フランスのクラシカルサクソフォンの伝統的な学派を学ぶ。サクソフォンを井上麻子、ヤン・ルマリエ、ファブリス・モレッティの各氏に師事。オーケストラスタディをファブリス・モレッティ氏、声楽をクラウドィヌ・ル・コズ氏に学ぶ。パリジャンサクソフォンコンクール2016 作曲家 アルマンド・ギドニー氏に称賛を受け、作曲者賞を受賞（フランス）。第6回豊中音楽コンクール 第2位、第24回万里の長城杯国際音楽コンクール 第2位、第92回レオポルド・ベラン国際コンクール ファイナリスト（フランス）。自身の地元にて、ファーストリサイタル「エピソード・キャトリウム」を開催し好評を博す。現在、各方面で演奏活動や自主企画をする傍ら、サクソフォン吹奏楽など、後進の指導を行っている。



baritone saxophone 石田 さと子

大阪音楽大学卒業、同専攻科修了。フランス国立セルジーポントワーズ音楽院卒業。在学中UFAM国際コンクール1位入賞。シエナウィンドオーケストラ、明石フィルハーモニー管弦楽団、エウフォニカ管弦楽団とのコンチェルト共演をはじめ、リサイタルや室内楽コンサートを多数企画 主催。明石市吹奏楽祭 中高生サクソフォンオーケストラを長年指導。2014,2015年 明石文化芸術創生財団主催「明石サクソフェスタ～祭 the sax」をプロデュース。2017,2018年 日本クラシック音楽コンクール優秀指導者賞受賞。クラシックサクソフォンにオリジナリティ溢れるスパイスを加えながら、活動を展開中。神戸バリトンサクソクラブ、Gloss.、クインテット ピアチェーボレ、各メンバー。



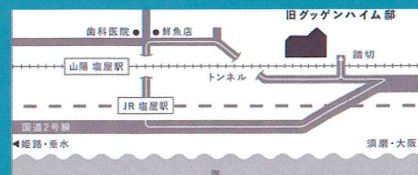
駅前から迷路のように続く商店街、丘や谷間にへばりつくような細い路地と家々。

旧グッゲンハイム邸 〒655-0872 兵庫県神戸市垂水区塩屋町3丁目5-17

北側線路沿いを東へ200m後、突き当たり右手のトンネルをくぐり、さらに100m、「塩屋第1」遮断器を渡り、階段を数段上る。駅より徒歩5分。

塩屋駅改札から海側に降りて、国道沿いを海を眺めながら歩くのもおすすめです。

電車にて：姫路より40分、明石より12分、大阪より40分、三宮より17分 ※駐車場はありません



当館をご訪問の際には、この、ちょっと他にない組み合わせがコンパクトに詰まった塩屋の町の散歩を兼ねていただけるとうれしいです。

漁業や海苔の養殖が盛んで、神戸の中心地からわずか15分とは思えぬローカルさも魅力です。